

令和5年度第2回介護保険運営協議会 会議録

項目	内容	
開催日時	令和5年10月6日(金) 午後6時30分から午後8時25分まで	
開催場所	二宮町役場 第1会議室	
出席者氏名	委員	10名 定本貴明会長、峯佳子副会長、吉澤学、菅澤富枝、宮内春実 松井陽代、里山樹、前島直美、柴谷寛人、高見澤秀男
	事務局	7名 健康福祉部長 高齢介護課長、介護保険班長、介護保険班員1名、高齢福祉班長、 高齢福祉班員1名 地域包括支援センター管理者
	その他	1名 計画策定コンサルティング (株)アールピーアイ栃木
欠席者氏名	齋藤昌久、山田政雄	
議題	1. 開会 2. あいさつ 3. 議題 (1) 介護保険の実施状況(令和4年度)について (2) 第8期計画の評価と課題について (3) 第9期計画について (4) 第9期介護保険事業計画に係る施設・居住系サービス基盤 の整備目標数値の試算について (5) その他	

発言者	議題・発言内容及び決定事項
事務局	<p>1. <u>開会</u></p> <p>始めに、本日の協議会は会議の記録のために録音しています。委託事業者も参加していますので、ご了承のほどお願いいたします。また、計画策定に向けて議題、資料ともに盛沢山な内容となっておりますので、議事がスムーズに進行できますよう、みなさまのご協力をお願いいたします。</p> <p>次に、本日の出席委員数のご報告をいたします。委員定数 12 名のうち、現在 10 名の方に参加いただいています。二宮町介護保険条例施行規則第 17 条第 2 項の規定の通り、定員に達していることをご報告いたします。</p> <p>それでは、さっそくですが、まず会長から一言お願いします。</p>
会長	<p>2. <u>あいさつ</u></p> <p>議題が多くありますが、今後の計画についてとなりますので、できるだけ多くみなさんの意見に触れたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくをお願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは改めまして、会議の公開について説明をします。二宮町町民活動推進条例第 10 条および二宮町附属機関等が開催する会議に関する要綱において、会議は原則公開とさせていただきます。本日は申し込みがありませんでしたので、このまま進めさせていただきます。</p> <p>続きまして、配布資料の確認をさせていただきます。 過不足等があればお申し付けください。</p> <p>それでは、令和 5 年度第 2 回介護保険運営協議会を開催します。議事進行につきましては、会長によりしくをお願いいたします。</p>
会長	<p>議題（1）介護保険の実施状況（令和 4 年度）、資料 1、2、3 に関しての説明を担当者よりお願いいたします。</p> <p>3. <u>議題</u></p>

	<p><u>(1) 介護保険の実施状況（令和4年度）について（資料1, 2, 3)</u></p>
事務局	資料1、2、3について説明
会長	資料1、2、3の説明に関して、なにか質問はありますか。
委員	資料3の保険料額が月額と年額で記載されており、比較がしづら いので、特別な理由がなければ統一いただけますか。
事務局	次回より、年額に統一させていただきます。
会長	ありがとうございます。 続きまして、議題（2）第8期計画の評価と課題について、資料4 に関する説明を担当者よりお願いいたします。
	<p><u>(2) 第8期計画の評価と課題について（資料4)</u></p>
事務局	資料4について説明
会長	ありがとうございました。 第8期介護保険事業計画事業評価シートで、評価Aを取得した13 の事業についてご説明いただきましたが、委員の方でなにかご意見 はありますか。
委員	2ページ目、地域における支え合いの推進の（1）地域の通いの場 についての評価ですが、少し過剰に表現されている気がします。 実際には参加者は固定されていて、新たにネットワークが広がっ ていくような環境には思えないのですが。
事務局	通いの場に参加いただく中で、顔が見える関係となることで、地域 で支え合う関係づくりは進んでいると評価しています。
事務局	他自治体に比べて珍しく、二宮町は、各地区で通いの場を運営して います。その中で町民のネットワークが広がっていることには、大変

	<p>成果を感じています。ただ、さらに参加者を集める必要はありますので、方法を考えていきたいと思います。</p>
委員	<p>他自治体と比べる必要はなく、町民がどう受け止めているかが大事だと思います。今回の評価に対する考え方については理解しました。</p>
会長	<p>その他ご質問等よろしいでしょうか。</p>
副会長	<p>介護保険サービスにおけるリハビリテーションの提供体制の評価が低いですが、コロナ禍で利用率が下がっており、理学療法士が足りないなど問題があるのでしょうか。</p> <p>また、リハビリテーションの必要性についての問題もあると思いますが、いかがでしょうか。</p>
会長	<p>コロナ禍により高齢者の利用率が下がり、この評価につながったように感じます。</p>
事務局	<p>計画値を出した頃は、今後どんどん伸びていく予想でした。しかし、コロナ禍の影響を受け、高齢者の利用率が減っており、その点を見込めていなかったため、計画値と比較すると数値は低くなっております。</p>
事務局	<p>また、訪問看護サービスの利用率が伸びていますが、理学療法士がリハビリテーションを行う事業所もあり、そちらに利用者が移行していることも考えられます。</p>
委員	<p>認定調査員が少なく、申請や認定が遅いという意見を耳にしますが、それは単に人材不足からきているのか、それとも介護保険料収支が厳しいからなど理由があるのでしょうか。</p>
事務局	<p>介護保険料につきましては、今後検討していく必要はあると思います。申請や認定調査については、新規申請や変更申請される方が多く、その影響を受けていると感じています。</p>
事務局	<p>二宮町では、町民のみなさまが自身の健康に気づかい、必要なサー</p>

	<p>ビスを選択し利用していただいております。その結果、神奈川県下で一番低い介護保険料です。今後も、介護給付費準備基金など活用し、保険料をなるべく増やさないように努めます。</p>
<p>会長</p>	<p>はい、ありがとうございます。 議題（３）第９期計画について、資料の５－１、５－２に関する説明を担当者よりお願いいたします。</p>
	<p><u>（３）第９期計画について（資料５－１、５－２）</u></p>
<p>事務局</p>	<p>資料５－１（～P41）について説明</p>
<p>会長</p>	<p>委員の方、ご意見ご質問はございますか。</p>
<p>委員</p>	<p>町民のみなさんに読んでいただくにあたり、この体裁のままだと読みづらく、総体のイメージが湧かない気がします。例えば、地域包括ケアについて、冒頭でかみ砕いて説明をすとか、さまざま検討する必要があると思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>今回お示ししているものに、後半来年度の計画値や保険料を付け加える、前回と同じ構成を考えていました。地域包括ケアシステムについては、冒頭に説明を加えることなどは検討させていただきます。また、二宮のケアシステムのイメージについては、50 ページにございます。</p>
<p>委員</p>	<p>この図はどこでも出てきますよね。</p>
<p>事務局</p>	<p>イメージ図で見る方が、字で見るよりは分かりやすいと思っております。この図の配置場所については、まだ検討可能です。</p>
<p>委員</p>	<p>せっかくイメージ図があるのであれば、もっと視覚効果がある箇所に配置すると良いかもしれません。</p>
<p>会長</p>	<p>続きまして、42 ページから 47 ページまでに關しての説明を担当者よりお願いいたします。</p>

コンサル	資料5-1 (P42~P47) について説明
会長	委員の方、なにかご意見ご質問はございますか。
委員	<p>ご説明の中で、業務負担の軽減を進めるとありましたが、今後高齢者が増えていき、業務内容は増加していくと想像できますが、この点についてはいかがでしょうか。</p> <p>また、文章が非常に読みづらく、もう少し区切りをもって分かりやすい文章にしていただけると助かります。</p>
会長	はい、ありがとうございました。
委員	4番の認知症予防と共生についてですが、町では実際の認知症の人数を把握されているのでしょうか。
事務局	審査会で認知症のデータが出ますので、集計することは可能だと思います。
委員	高齢者の方々は、認知症に対して恐怖心をもっています。予防と共生という、言葉だけが走っているように感じるので、もっと具体的に町としての予防、対処方法を案内するべきだと思います。
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>認知症の診断を受けると、車の運転に制限がでて、大変なこともありますが、実際に知ることで予防共生ができると考えます。</p> <p>また、認知症の実際の数値についてですが、次回分かる範囲でお示しください。</p>
委員	要介護の方たちは数値化されていますが、認知症の人数を数値化するのは難しいでしょうね。
会長	一般のクリニックは、長谷川式の簡単なテストを行い、認知症の疑いありまで診察し、薬を処方しています。大きな病院であれば、MRIや脳スペクト診断を受けることができます。
副会長	それで認知症の種類も診断できるということでしょうか。

<p>会長</p>	<p>そうですね。75%くらいがアルツハイマー型です。 アルツハイマー型の初期治療は、薬や点滴がありますが、保険適用ですが高額で、脳出血のリスクもあるので、実際行うとなると大変です。 話が逸れてしまいましたが、認知症の数値につきましては次回お示しください。</p>
<p>委員</p>	<p>やはりいつまでも家で暮らしたいですね。</p>
<p>副会長</p>	<p>認知症になると、一人世帯では厳しいですね。</p>
<p>委員</p>	<p>認知症だから施設、ではなく地域で支え合って在宅でも過ごしていけるようになると良いですね。</p>
<p>委員</p>	<p>認知症であることを、声にあげられるような地域づくりが必要ですね。</p>
<p>委員</p>	<p>もう少し身近な問題として考えるべきですね。他人事に考えるのではなく、地域で支え合い情報提供をしっかりと行っていく、そういうことから考えて行くことが必要だと思います。 また、「ことわからない相談窓口」の記載がなくなっていますが、これは地域包括システムとあわせて大きな取り組みであったと思います。相談件数が増えているのかは分かりませんが、相談しやすくなったことは確かです。これについて町はどのようにお考えでしょうか。 最後に、同じ文言が多用されており、文章の区切りも非常に読みづらいので、修正いただければと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほど別の委員のご指摘で、認知症の具体的な人数を示すとお話がありましたが、これは非常に難しいと思うのですが、町の担当の方はどうお考えでしょうか。もちろん、統計として正確なデータが出せるのであれば、より具体性をもって町民の方にも受け止めてもらえるのではないかと思います。いかがでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>どういう方法で数値化するかが定まっていないため、次回ご返答させていただきます。</p>

会長	<p>次の議題よろしいでしょうか。</p> <p>資料5-1の48ページから49ページまでに關しての説明を担当者よりお願いいたします。</p>
事務局	<p>資料5-1（P48～P49）について説明</p>
会長	<p>基本理念①②について、決をとりたいと思います。どちらかに挙手をお願いします。</p> <p>では、基本理念②で了承いただきました。役場の方よろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>副題として49ページにお示ししています「～ゆるやかな見守りの輪を広げる～」はいかがでしょうか。ご審議をお願いいたします。</p>
委員	<p>「ゆるやかな見守り」というのは、具体的にどのような内容と捉えればよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>「ゆるやかな見守り」というのは、地域町民の方一人一人が、お互いに見守り合うことをイメージしています。それは、干渉するような形ではなく、誰もいつか助けが必要になる日がくるので、日頃からお互い気にし合って過ごしていきましようといった意味合いです。</p>
委員	<p>なんとなく理解できました。</p>
委員	<p>「見守りの輪を広げる」と言われても、表現が抽象的に感じます。</p>
副会長	<p>「見守りの輪を広げる」という表現では、主旨が伝わらない。</p>
会長	<p>副題は絶対入れないといけないのでしょうか。</p>
事務局	<p>いえ、入れなくても大丈夫です。</p>
委員	<p>理念がきちんとあるので、あえて副題は入れなくても良いと思います。</p>

事務局	では、今回副題はなしで進めさせていただきます。
会長	続きまして、資料の 50 ページから 55 ページに関する説明を担当者よりお願いいたします。
事務局	資料 5 - 1 (P50~P55) 資料 5 - 2 について説明
会長	委員の方、なにかご質問等ございますか。
委員	現在、介護施設において、人材確保が大変難しくなってきています。この状況を、町としてはどう捉えて、どのような対策をしていく予定でしょうか。
事務局	町としては、介護職員の初任者研修受講者への助成をしております。また、町内の事業所に就労し、3か月以上継続して就労した場合には支援金を支給しています。地道なことではありますが、引き続き続けていきたいと思っております。
会長	続きまして、資料の 56 ページから 75 ページに関する説明を担当者よりお願いいたします。
事務局	資料 5 - 1 (P56~P75) について説明
会長	委員の方、なにかご意見ご質問ございますか。
委員	60 ページの (5) シルバー緊急通報システムですが、実際に通報 (ボタンを押す) があるとアルソックの担当が現場に駆けつけて、介助してくれます。今までは身体的な接触を伴う介助はできなかったため、新しくリニューアルし、非常に画期的なシステムになったと思います。現在も利用者は増えておりますが、さらに増加させるために、内容を詳しく記載していただいた方が良いかなと思いました。
事務局	現状としては、通報があってもアルソックの担当者が駆けつけても、対応できず消防に連絡し、救助を呼んでいる場合もあります。そのため、内容記載については、再度検討させていただきます。

副会長	利用者は家の鍵を預けているのでしょうか。
事務局	預けている方もいるし、預けていない方もいらっしゃいます。
委員	記載の仕方は難しそうですが、現場としては非常に助かっている状況であることはお伝えいたします。
会長	これは、非常に良いことだと思いますけどね。
委員	健康づくりステーション未病センターにのみやですが、骨量測定器が故障していました。メンテナンスをしっかりといただきたいと思います。 また、ヤングケアラーの方は二宮にもいらっしゃるのでしょうか。
事務局	多くはないですが、町がヤングケアラーと捉えて対応している方はいらっしゃいます。特に子どもの関係になりますので、保健センターが中心となり、関わり深く寄り添い、さまざまな支援を行っていくようにしています。
委員	58 ページ（4）地域での見守りネットワークの構築のところ、地域の通いの場を中心としたとありますが、現在通いの場を支えてくださっている方々も今後高齢化すると、継続していくのは難しいのではないかと思います。そういった問題意識をもっていただく必要があると考えます。 次に、先日お互いさま協議会を傍聴させていただきました。活動してくださっている方の中には、自身の意見がどう反映し、どう町民に影響しているのか、果たして役に立っているのだろうかという疑問に感じている方がいらっしゃいました。せっかく自主的、協力的な方々がいるのですから、しっかり情報共有し、工夫して進めてほしいです。 最後に、認知症予防の 71 ページ（1）正しい知識の普及ということで、サポーター養成講座があります。認知症をもっと身近な問題として捉え、地域の課題にし、講座を有効的に活用していくべきだと思います。
委員	67 ページ（8）の一番上の行「フレイル」ですが、一般的にはまだ

	<p>浸透していない気がするので、欄外に注釈で詳細記載すると良いと思います。</p>
会長	<p>では、よろしいでしょうか。</p>
副会長	<p>認知症サポーターって言われている人たちは、今何名くらいいるのですか。</p>
事務局	<p>認知症サポーター養成講座を受けた方は延べ人数で、約 4,200 人いらっしゃいます。</p>
副会長	<p>その中での活動人数は、どれくらいいらっしゃいますか。</p>
事務局	<p>実際の活動人数はすぐお答えできませんが、認知症サポーターのつどいにご参加いただいている方は、15 名ほどです。</p>
委員	<p>60 ページの（9）生活支援サービスの体制整備ですが、具体的に生活支援はどのような方が対象で、サポート内容はこういったことでしょうか。</p>
委員	<p>どこかで定義する必要がありますよね。 先ほどお話に出た、お互いさま協議会や緊急通報システム、おたすけネットなど、地域の方に分かりやすい情報発信が必要だと思います。本来、地域の方は地域で助ける体制をとっていかないと、町としても対策が具体化しないと思います。</p>
会長	<p>実際の生活支援内容を、具体的に箇条書きに書いていただいても良いのかもしれませんがね。</p>
事務局	<p>生活支援コーディネーターを中心に、各通いの場に生活支援ファイルを設置しています。その中で、地域の支援サービス内容を情報提供させていただいております。この内容は、町のホームページでも閲覧できるようにしております。</p>
委員	<p>データファイルがあるのは知っているがあまり活用されていないようなので、具体的な情報提供が必要だと思います。</p>

<p>会長</p>	<p>はい、ありがとうございます。今委員の方から色々意見が出ましたので、修正点は次回までに反映をお願いします。</p> <p>続きまして、議題（４）第９期介護保険事業計画に係る施設・居住系サービス基盤の整備目標数値の試算について、資料６、７－１、７－２に関しての説明を担当者よりお願いいたします。</p> <p><u>（４）第９期介護保険事業計画に係る施設・居住系サービス基盤の整備目標数値の試算について（資料６，７－１，７－２）</u></p>
<p>事務局</p>	<p>資料６、７－１、７－２について説明</p>
<p>会長</p>	<p>委員の方、なにかご質問はございますか。</p>
<p>委員</p>	<p>資料６の説明を伺うと、二宮では施設を用意するのではなくて、他の自治体の施設を利用してもらってことでしょうか。</p> <p>また、向こう三か年の中で町が取り組みたいと思っているのは、認知症対応型共同生活介護事業所を誘致、というのが当面の計画でしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>そうですね。</p>
<p>会長</p>	<p>特養とかはやはり場所とか条件とかがあり、増やすのは厳しいのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>そうですね。</p>
<p>会長</p>	<p>では、最後議題（５）のその他ですが、委員の方からのご意見はよろしいでしょうか。</p> <p><u>（５）その他</u> （質疑応答なし）</p>
<p>事務局</p>	<p>事務局の方から、ご報告いたします。</p> <p>第３回の会議につきましては、１１月２９日（水）１８時半開始予定となります。協議の内容としましては、本日の意見修正をした部分、町</p>

委員	の今後の方針などを記載し、県の確認を経たものをご報告させていただきます。こちらからの報告は以上です。
事務局	いつ頃資料はいただけますか。
会長	議会の1週間前にはお手元に届くよう手配させていただきます。 それでは、第2回介護保険運営協議会はこれで終了いたします。 どうもありがとうございました。 【閉会】